長崎市立愛宕小学校　学校だより 第19号　　令和５年３月１４日発行
文責 校長 吉田由美子

あたごの子

～優しい子・元気な子・賢い子～

３月に、「整える」

３月も気付けば半ばとなり、６年生は卒業式を含め、あと二日の登校となりました。昨日は、卒業式の予行練習が行われましたが、文字どおりに、身も心も「整えて」参加することができ、大変立派でした。明後日の卒業式では、目標の「最高の姿」を見せてくれることと期待しています。

他の学年も、一週間余りを残すのみとなり一年間のまとめを行っています。学習面でも生活面でも、今の学年で身に付けるべきことをしっかりと身に付け、準備を「整えて」、進級できるよう頑張っています。

また、３月の生活目標は、「ありがとうの心を大切にしよう」です。全校集会で担当の野間教諭から話があったように、「ありがとう」と言われるととてもうれしい気持ちになりますが、同じように「ありがとう」と伝えているかを振り返り、いつもより意識して、「ありがとう」と声に出して伝え合っていきたいと思います。

学級の友達に、毎日過ごした教室に、お世話になった方々に、そして家族の方々にも、精一杯の「ありがとう」を届けて、一年間を締めくくりたいと思います。保護者の皆様、もうしばらく応援よろしくお願いします。

授業参観・懇談会

２月 22 日、24 日は、今年度最後の授業参観・懇談会でした。各学年が今年度の学習の成果を保護者の皆様に披露しました。

１年生は小学校で初めての発表会でした。緊張しながらも、できるようになったことをグループで堂々と発表しました。

【１年生】

６年生は小学校最後の発表会で、一人一人が自分の将来の職業に思いをはせて、調べたことをまとめて、プレゼンしました。

【６年生】

小音会に出場できなかった５年生は、見事な合奏を披露しました。

【５年生】

２・３・４年生の発表も大変立派でした。多数の御参観、誠にありがとうございました。

６年生を送る会

３月７日には、全校児童が体育館に集まり「6年生を送る会」を行い、６年生の卒業をお祝いし、共に過ごす最後の時間を楽しみながら別れを惜しみました。

まずは、６年生を新調した花のアーチで迎えた後、各学年が６年生に贈る出し物を披露しました。6年生の歩みや６年生との思い出などを、１年生から５年生までが趣向を凝らして発表しました。歌あり、ダンスあり、寸劇あり、クイズあり、エールあり…と、盛りだくさんの発表で、どれも6年生への思いがこもったものでした。

これを受けて、6年生からもメッセージと合唱が届けられました。愛宕小学校の伝統を受け継ぐ引継ぎ式も行われ、バトンが5年生へと渡されました。全校で合唱した校歌は、とてもすばらしく心に残るものでした。

【３年生　楽しい寸劇】

【４年生　力強いエール】

【引継ぎ式】

【６年生　お礼の出し物】

【花のアーチで入退場】